

脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

定義

緊急入院した脳梗塞症例の早期リハビリテーション実施率（％）です。

分子：入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。

分母：最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者

数です。院内発症した脳梗塞症例は含みません。

3日以内に退院した場合または転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。

算式

分子：入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。

分母：最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者数です。院内発症した脳梗塞症例は含みません。3日以内に退院した場合または転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。

当院の値（調査期間）

R6年度 42.86 % (年間)

R5年度 - % (年間)

R4年度 - % (年間)

R3年度 - % (年間)

R2年度 - % (年間)

項目の解説

早期のリハビリテーションは運動機能の回復を促進することが明らかにされており、脳梗塞の診療の指針を示す診療ガイドラインでも推奨されています。脳梗塞患者の社会的復帰のためには、脳梗塞発症後速やかにリハビリテーションを行うことが重要です。早期のリハビリテーション開始が入院期間の短縮や生活の質の改善につながる可能性があることから、脳梗塞患者への適切な治療の一つとして評価されます。令和3年度から令和5年度にかけて平均値と中央値はやや増加しています。重症症例ではリハビリテーションの開始が遅れる傾向があるため一概にはいえませんが、数値を更に増加させるためには国立大学病院におけるリハビリテーション医療をより充実させる必要があります。